

# ★ちば県議会だより

党派等別議員数		
党派等名	略称	議員数
自由民主党千葉県議会議員会	自民党	53人
立憲民主・千葉民主の会	立千民	17人
公明党千葉県議会議員団	公明党	8人
千翔会	千翔会	3人
日本共産党千葉県議会議員団	共産党	2人
平和の党	平和党	1人
社民党	社民党	1人
千葉県民の声	県民声	1人
市民ネットワーク	市民ネ	1人
リベラル民主	リベ民	1人
無所属議員	無所属	6人

定数94人 現員94人 (令和2年11月19日現在)

県議会は、年に4回(2月、6月、9月、12月)定例会を開きます。ちば県議会だよりは、各定例会の審議の概要等をお知らせしています。

発行 千葉県議会 編集 千葉県議会事務局政務調査課 千葉市中央区市場町1-5 (〒260-0855) 電話 043(223)2523 FAX 043(222)4073 千葉県議会 検索



## 12月定例会県議会のあらまし

12月定例会県議会は、11月27日に招集され、12月22日までの26日間にわたり開催されました。

開会日には、議長の前報告に続き、令和2年度一般会計補正予算等の議案31件、審査請求に関する諮問1件、報告1件が上程され、知事から提案理由説明と県政の当面する諸問題について報告がありました。上程された議案のうち、議案第6号および第7号については先議となり、付託された総務防災常任委員会で審査した後、本会議において採決の結果、原案のとおり可決されました。

その後、議員発議議案3件(条例1件、決議2件)が上程され可決されました。

12月3日から6日間にわたり行われた代表質問および一般質問は、24名の議員が登壇し、財政問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症対応、防災対策、福祉、道路、教育問題等について活発な議論が展開されました。

12月10日の一般質問終了後、諮問1件が先議となり、付託された総務防災常任委員会で審査した後、本会議において採決の結果、諮問に係る審査請求について棄却すべきである旨答申することに決定しました。

各常任委員会は、12月14日から4日間にわたり開催され、付託された議案・請願について具体的・専門的な審査が行われました。

閉会日には、決算審査特別委員会の委員長報告、討論が行われ、採決の結果、令和元年度決算は認定されました。

続いて、令和2年度一般会計補正予算(第8号)が追加上程され、知事から提案理由説

明があった後、付託された常任委員会(総務防災・商工労働)で審査が行われました。

本会議再開後、総括審議として各常任委員会委員長の審査結果報告、討論が行われました。採決の結果、追加上程された議案を含む30件の議案が原案

## 代表質問

12月3日(木)



自民党  
こいけ まさあき 議員  
小池 正昭 議員 (成田市)

- ▶ 新型コロナウイルス感染症への対応
- ▶ 行政のデジタル化
- ▶ 地方創生の推進
- ▶ 成田空港
- ▶ 再犯防止
- ▶ 農林水産業の振興



立千民  
のだ たけひこ 議員  
野田 剛彦 議員 (船橋市)

- ▶ 新型コロナウイルス感染症医療検査体制
- ▶ 児童虐待防止の取り組み
- ▶ 東千葉メディアカルセンター
- ▶ 性犯罪対策
- ▶ ホームドアの整備計画
- ▶ 避難所及び消防本部の立地等

12月4日(金)



公明党  
なかむら ひであき 議員  
仲村 秀明 議員 (船橋市)

- ▶ コロナ禍における課題
- ▶ 少子化対策
- ▶ 医療問題
- ▶ 防災
- ▶ 環境問題
- ▶ ヤングケアラー

質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 12月 検索

のとおり可決されました。

その後、人事案件2件が追加上程され採決の結果、同意されました。続いて、議員発議議案18件のうち意見書3件を可決し、今定例会に付議された全ての案件の審議を終了しました。

## 予算委員会の設置

県の新年度予算および関係する議案を横断的かつ多角的に審査するため、予算委員会が設置されました。今後、2月定例会の会期内において審査が行われます。

党派等名	委員名		
自民党	◎ 江野澤 吉 克	○ 斉 藤 守 人	○ 實 川 隆 一
	瀧 田 敏 幸	林 幹 和	山 本 義 岳
	三 沢 智 喜	小 路 正 寛	森 宮 坂 奈 緒
	小野崎 正 喜	伊 藤 寛 太	宮 川 太 浩
立千民	河 野 俊 紀	磯 部 裕 和	高 橋 浩
公明党	入 江 晶 子	平 田 悦 子	
千翔会	秋 林 貴 史	横 山 秀 明	
共産党	水 野 友 貴		
	加 藤 英 雄		
その他の党派・無所属	西尾 憲一(平和党)	小宮 清子(社民党)	プリティ長嶋(県民声)
	伊藤 とし子(市民ネ)	秋葉 就一(リベ民)	坂下 しげき(無所属)
	川井 友則(無所属)	大崎 雄介(無所属)	田 沼 隆 志(無所属)
	市原 淳(無所属)	松崎 太洋(無所属)	

◎委員長 ○副委員長

(令和2年12月22日現在)

## 可決・同意された議案

- ◆ 令和2年度補正予算関係(6件)
  - ▽ 一般会計(2件)
  - ▽ 特別会計(4件)
- ◆ 条例の一部改正(7件)
  - ▽ 職員の給与に関する条例等
  - ▽ 特別職の職員等の給与、旅費及び費用弁償に関する条例
  - ▽ 千葉県知事の権限に属する事務の処理の特例に関する条例
  - ▽ 使用料及び手数料条例
  - ▽ 興行場法施行条例
  - ▽ 食品衛生法施行条例
  - ▽ 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例
  - ◆ その他(21件)
    - ▽ 契約の締結(3件)
    - ▽ 契約の変更
- ◆ 可決された決議・意見書
  - ▽ 立皇嗣の礼に関する「賀詞」決議(2件)
  - ▽ 新たな過疎対策法の制定を求める意見書
  - ▽ 不妊治療への保険適用の拡大を求める意見書
  - ▽ 「日ノ地先沖合漁業協定」に基づくロシア船の操業に係る意見書
- ◆ 議員提出
  - ▽ 条例の一部改正
  - ▽ 千葉県議会議員の議員報酬等に関する条例
- ▽ 当せん金付証券の発売
- ▽ 指定管理者の指定(14件)
- ▽ 教育委員会委員の任命同意(2件)



# 代表質問から

## 新型コロナウイルス感染症

**問** 季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備えた医療提供体制の整備について、どのように取り組んでいるのか。

**答** 県では、季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行に備え、多数の発熱患者に対応できるように相談・診療・検査体制の整備を図ってきた。発熱等の症状が出た場合には、まずは身近な医療機関へ電話相談をしてもらうこととしているが、併せて、県民の相談窓口として、千葉発熱相談コールセンター、市町村、発熱相談医療機関へ相談できるようにした。

発熱患者を診療または検査する医療機関については、11月末現在、958カ所を確保している。

なお、検査については、同日現在、1日当たり1万2152件の実施が可能であり、さらに整備を進めていく。

**問** 雇用の維持に向けて、具体的にどのように取り組んでいるのか。

**答** 県では、これまで、県内企業の雇用維持の取り組みを支援するため、雇用調整助成金の活用に向けた周知・広報や、助成金の特例措置延長に係る国への要望等を行ってきた。

また、感染症の影響により、一時的に事業活動が縮小している企業の従業員の雇用を守るため、人手不足の企業へ在籍型で出向させる「雇用シェア」の活用を目指し、国や経済団体等と連携し、アンケートにより県内企業のニーズを把握した。アンケートで支援を希望した企業

には、人材シェアマッチングに向け、国や関係機関と連携して個別支援を行う他、関東経済産業局の人材マッチングサイトに企業情報を掲載し、広域的な情報発信を行っている。

今後、雇用シェアについて、成功事例や具体的な手続きに関する説明会の開催等により、理解促進を図るなど、公労使でこれまで以上に連携し、県内産業の雇用維持に向け取り組んでいく。

**問** 6月と8月に続き、今後実施しようとしている教育活動等に関する調査の目的や内容はどのようなものか。

**答** 県教育委員会では、臨時休校明けの6月と、1学期終了後の8月に県内全ての公立小中学校に対し、教育課程の履修状況および学習指導上の諸課題について調査し、必要な指導、支援を行ってきた。

全ての学校から、予定通り今年度の学習内容を終わらされるとの回答を得ているが、2学期に入り臨時休校等が見えられたことから、12月にあらためて調査を行い、残り3カ月で確実に終わることができているかを確認する予定である。

併せて、児童・生徒の心理面への影響も懸念されることから、不登校やいじめの状況、児童・生徒が抱える悩み等を調査し、必要に応じてスクールカウンセラー・スーパーバイザー等を派遣していく。

**問** 県では行政のデジタル化について、どのように考えているのか。

**答** 人口減少やこれに伴う人口構成の変化は、経済の縮小や医療・福祉人材の不足、都市や集落の機能低下など、さまざまな影響を及ぼすこと

が懸念される。急激な人口減少を和らげ、経済の活性化を図るとともに、持続可能な地域社会を確立する地方創生を実現するためには、豊かな自然や優れた都市機能、新鮮でおいしい農林水産物など、各地域の特性や強みを最大限生かしていくことが重要であると考える。

また、デジタル化を推進することによって、行政手続きのオンライン化による申請者負担の軽減や、行政が保有するデータのさまざまな活用が容易になるなど、県民や事業者の利便性向上が期待でき、社会経済に好循環を生み出していくことができると考

える。このため、県においても、業務の継続や効率化に加えて、県民の誰もが暮らしやすい社会の実現が図られるよう、デジタル化に向けた一層の取り組みが必要と考える。

## デジタル化の

デジタル化の推進

**問** 新型コロナウイルスの感染拡大により、従来の紙中心、対面中心の業務形態では、継続が困難なものもあつたことから、県としても、テレワークやウェブ会議の活用など、業務のデジタル化の重要性をあらためて認識した。

また、デジタル化を推進することによって、行政手続きのオンライン化による申請者負担の軽減や、行政が保有するデータのさまざまな活用が容易になるなど、県民や事業者の利便性向上が期待でき、社会経済に好循環を生み出していくことができると考

える。このため、県においても、業務の継続や効率化に加えて、県民の誰もが暮らしやすい社会の実現が図られるよう、デジタル化に向けた一層の取り組みが必要と考える。

また、提案時期については、いつ頃を目指しているのか。

**答** 成田空港は、豊富なネットワークを持ち、国際航空貨物取扱量も全国1位の国際物流拠点であることが大きな強みであることから、日本の国際競争力の向上に資することを目的とした国家戦略特区制度の活用を目指している。

現在、地元の要望も踏まえながら、土地利用規制の緩和などにより、空港の機能強化に併せ、物流産業等の空港周辺へのさらなる集積を図り、成田空港を旅客のみならず航空貨物の東アジアの拠点とすることを軸とした提案の調整を進めている。

今後は、1月中旬を目途に、県から国へ国家戦略特区の規制緩和策の提案を行い、特区指定に必要となる国のワーキンググループなどでの検討・調整にしっかりと対応し、空港周辺9市町を一体とした特区の早期指定を目指していく。



## 地方創生の推進

**問** 第2期地方創生総合戦略において、県は、来るべき人口減少に対応するため、どのように取り組んでいるのか。

**答** 人口減少やこれに伴う人口構成の変化は、経済の縮小や医療・福祉人材の不足、都市や集落の機能低下など、さまざまな影響を及ぼすこと

## 再犯防止

**問** 千葉県地域再犯防止推進モデル事業の取り組み状況と、再犯防止推進計画の策定に向けた取り組み体制や検討状況はどうか。

**答** このモデル事業では、犯罪をした者等が、刑務所などの矯正施設を出所後、再び罪を犯すことなく地域生活を営むことができるよう、関係機関で構成するケース会議で対象者に応じた支援策を検討の上、矯正施設出所前の段階から関わりを持ち、居住場所の確保や、福祉サービスの利用のための支援を実施してきた。

モデル事業の最終年度となる今年度は、取り組みの成果などを、国と地方の連携による再犯防止施策として取りまとめ、国へ提案するとともに、県の再犯防止推進計画の基本的な考え方を定める予定である。

今後の県の計画策定に当たっては、就労・住居、保健医療・福祉、教育など、幅広い施策が盛り込まれるよう、国の司法関係機関、県の関係部署、福祉関係機関と緊密に連携し、来年度の策定に向けて検討を進めていく。

## 成田空港

**問** 国家戦略特区の提案内容はどのようなものと考えているのか。

**答** 成田空港は、豊富なネットワークを持ち、国際航空貨物取扱量も全国1位の国際物流拠点であることが大きな強みであることから、日本の国際競争力の向上に資することを目的とした国家戦略特区制度の活用を目指している。

現在、地元の要望も踏まえながら、土地利用規制の緩和などにより、空港の機能強化に併せ、物流産業等の空港周辺へのさらなる集積を図り、成田空港を旅客のみならず航空貨物の東アジアの拠点とすることを軸とした提案の調整を進めている。

今後は、1月中旬を目途に、県から国へ国家戦略特区の規制緩和策の提案を行い、特区指定に必要となる国のワーキンググループなどでの検討・調整にしっかりと対応し、空港周辺9市町を一体とした特区の早期指定を目指していく。

## 農林水産業の振興

**問** 県は需要に応じた米生産に、今後どのように取り組んでいくのか。

**答** 米の需給緩和による価格の低下を防ぎ、稲作経営の安定を図るため、主食用米と同様に栽培でき、一定の収入が見込める飼料用米などへの転換により、需要に応じた米の生産に取り組むことが重要と考える。

このため、県では、飼料用米等への転換を促進するため、国の交付金に上乗せ助成を行う他、主食用米からの転換が少ない市町村への働き掛

けや、飼料用米を生産する農家に対する技術指導を行ってきた。また、令和3年度については、飼料用米の目標面積を本年実績より約千ヘクタール多い5千ヘクタールとし、飼料用米への転換を促進するため、主食用米の生産目安を例年より1カ月早く提示した。

今後、市町村や農協などと連携し、大規模農家に加え、中規模農家に対しても飼料用米等への転換の必要性を説明することなどにより、米の需給安定を図っていく。

**問** ワンストップ支援の現状と課題、また、課題解決に向けた取り組みはどうか。

**答** 県では、NPO法人「千葉性暴力被害支援センター」と、公益社団法人「千葉犯罪被害者支援センター」の2団体をワンストップ支援センターとして位置付け、性犯罪・性暴力被害者からの相談等の支援を実施している。

これら2団体による令和元年度の相談件数は、前年度比873件増の5454件と増加傾向にあり、支援員の確保および質の向上が課題となっている。また、相談先が分からないなど潜在的な被害者等も想定されることから、センターの認知度の向上も必要と考える。

このため、県では、犯罪被害者支援員養成講座の開催に加え、新たに各センターが行う支援員等の研修経費を補助対象とした他、啓発物の配布等により支援センターの一層の周知を図っているところであり、引き続き、性犯罪等被害者への支援に努めていく。

## 性犯罪対策

**問** 各都道府県警察の性犯罪被害相談電話窓口につながる全国共通短縮ダイヤル番号「#8103」をより広く周知すべきと考えるがどうか。

**答** 性犯罪被害相談電話「#8103」は、第3次犯罪被害者等基本計画に基づき性犯罪の被害に遭った人々の支援に関し、相談しやすい環境整備の一環として、平成29年8月から運用開始され、被害に遭った人が一人で悩むことがないよう、また、性犯罪被害の潜在化を防止する観点からも、広く周知することが重要であると認識している。





各常任委員会の  
主な質疑から

総務防災常任委員会

問 新たな過疎法の制定について、県は、現行7市町の指定の継続について、どのような要望を行っているのか。

答 昨年と今年8月に国や関係国会議員へ要望した他、全国知事会などのさまざまな機会を利用して活動を行ってきた。

さらに、11月には、過疎地域の全国組織などを通じて、現行の一部過疎団体である鴨川市を含む7市町が継続して支援を受けられるよう、あらためて強く要望を行った。

総合企画企業常任委員会

問 南房総市小向ダムの濁水に対する県の対応はどうか。

答 12月14日、県濁水対策本部を設置し、全庁を挙げて取り組み体制を整えた。

その上で、ダムからの取水量を抑制し、断水を極力回避するため、水道使用量の多い施設への給水車の派遣や、各家庭への配布用として、県および企業局で備蓄しているペットボトル飲料水の無償提供などを行うこととした。

健康福祉常任委員会

問 発熱患者に対応する医療機

関数に発熱外来の指定を受けていない医療機関を含めているのはなぜか。

また、本県では発熱外来の指定を受けている医療機関が少ないとのことであるが、医療提供体制に問題はないのか。

答 事前に確認したところ、患者が集中するなどの懸念があるため、発熱患者の診療は行いが指定は希望しないという医療機関が相当数見込まれることが判明した。

そのため、指定希望の有無にかかわらず、発熱患者の診療を行うかを調査し、その結果を発熱患者に対応する医療機関数とした。

指定を希望しない医療機関にあっても、必要な院内感染対策は講じられており、医療提供体制に問題はないものと考えている。

環境生活警察常任委員会

問 本年における電話de詐欺の被害を抑制するための取り組みはどうか。

答 新型コロナウイルスの影響により、防犯講話などの広報啓発活動を自粛せざるを得ない状況下において、ホームページやツイッター等を利用した情報発信の他、自治体や公共交通機関におけるアナウンスなど、関係機関と連携して県民の防犯意識の高揚を図っている。

また、金融機関の協力によるATMの利用制限の拡充やコールセンターによる注意喚起など

の取り組みを一層強化している。

商工労働常任委員会

問 新型コロナウイルス感染症対応特別資金の利用実績や今後の見通しはどうか。

また、資金が速やかに届くよう、目配りすべきと思うがどうか。

答 これまでに2万3602件、約4300億円の利用があった。今後、感染症の影響の長期化や年末の資金需要の高まりも見込まれることから、必要な融資枠を確保するものである。

また、金融機関に対し、中小企業が必要な資金を確保できるよう、速やかで柔軟な対応を重ねて要請している。

農林水産常任委員会

問 令和3年度産の米の生産調整について、主食用米から飼料用米への転換面積を過去最大の5千ヘクタールまで積み上げるため、県はどのように取り組んでいくのか。

答 国と歩調を合わせて、主食用米と同等以上の収入が確保できるような支援策を検討していく。

また、市町村や農協などと連携し、飼料用米への転換の必要性を周知していく。

県土整備常任委員会

問 一宮川における河川激甚災害対策特別緊急事業の工事着手の見通しはどうか。

また、上流域および支川の浸

水対策の検討状況はどうか。

答 鶴枝川合流点から豊田川合流点までの区間については、護岸のり立てを計画し、令和6年度末までに完了させるため、早期に着手できるように進めていく。

また、上流域および支川については、今後、一宮川流域減災対策会議において合意を図った上で、河川整備計画に位置付け、一日も早い事業着手を目指す。

文教常任委員会

問 県立青少年教育施設の再編構想の実現に向け、次期指定管理期間において、どのように取り組んでいくのか。

答 「千葉県の魅力的な自然を生かした体験活動の提供」について、各指定管理者からの提案に加え、他県での先進事例を調査し、プログラム開発に取り組んでいく。

また「市町村立の青少年教育施設とのネットワーク化」については、各施設が所在する市町村教育委員会に働き掛け、実施事業等の情報交換を行うとともに、連携の在り方や具体的な取り組みについて検討を進めていく。



常任委員会活動報告

千葉県 常任委員会 検索

常任委員会では、それぞれの所管する事項の審査の参考とするため、現場に出向いて調査活動を行っています。詳しくは、ホームページをご覧ください。

商工労働常任委員会

調査日：令和2年12月15日(火)  
調査先：リングロー株式会社 長南集学校(長生郡長南町) 道の駅「つどいの郷」(長生郡睦沢町)

空き公共施設を  
活用した企業誘致

リングロー株式会社が、廃校であった旧長南小学校の施設を、地域の人々が集まるIT交流拠点として再生させた「長南集学校」を視察し、活動内容等を調査しました。その後、道の駅「つどいの郷」の入り込み状況等について調査しました。



長南集学校の校長より概要について説明を受ける委員

地域トピックス ～一般質問より～

東葛・湾岸ゾーン編

問 県立中央博物館・美術館の魅力向上について、どのように進めていくのか。

答 県教育委員会では、本年9月に「千葉県立博物館の今後の在り方」を策定し、県立博物館を、自然・歴史・文化の伝承や新たな知見の創造・発信の拠点と位置付け、それを踏まえた各館の方向性を示した。

特に、中央博物館については、従来の自然科学分野の優れた部分を生かしつつ、新たに人文科学分野の資料や専門職員の集約化、調査研究機能の強化、展示のリニューアルなどを行い、全体としての価値を高めていくこととしており、今後、プロジェクトチームを立ち上げ、具体的取り組みの検討を進める。また、県立美術館では、本県ゆかりの芸術

家の作品展やワークショップ、移動美術館等を通じて、多くの県民に芸術に親しむ機会を提供している。現在、県生涯学習審議会での今後の在り方や活性化策について意見を聞いており、年度内に答申を得る予定であることから、それを踏まえ、より一層の魅力向上に向けて取り組んでいく。



移動美術館の様子

千葉県議会ホームページ

県議会のさまざまな情報を掲載しています。ぜひご覧ください。

主な掲載内容

- 県議会議員の紹介 ● 傍聴のご案内
- 会議録検索 ● 会議の概要
- 議会図書室の利用案内

〈ホームページアドレス〉  
<https://www.pref.chiba.lg.jp/gikai/index.html>

千葉県議会ホームページで動画配信中

- インターネット中継(ライブ・録画)本会議および予算委員会(過去3年分視聴可)

スマートフォン・タブレット端末でも視聴できます。



千葉県議会中継 検索



# ちば県議会だより



質問項目は、主な項目を掲載しています。その他の項目は、千葉県議会ホームページに掲載しています。

千葉県議会 質問項目 12月 検索

12月4日(金)



自民党 江野澤 吉克 議員 (袖ヶ浦市)

- ▼ 廃棄物処理計画
- ▼ 有害鳥獣
- ▼ 道路問題
- ▼ 河川問題



無所属 大崎 雄介 議員 (船橋市)

- ▼ 教育問題
- ▼ 待機児童の解消
- ▼ 電子県庁
- ▼ 外国人人材

12月7日(月)



公明党 秋林 貴史 議員 (松戸市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対応
- ▼ 災害対策
- ▼ 障害児者支援
- ▼ 児童相談所の体制強化



自民党 伊豆倉 雄太 議員 (市原市)

- ▼ 転院搬送
- ▼ 災害対策
- ▼ 交通アクセスの強化
- ▼ 産業用地の整備



自民党 佐野 彰 議員 (千葉市中央区)

- ▼ 第二東京湾岸道路の千葉地区の建設
- ▼ 都川周辺の災害対策
- ▼ 県立博物館・美術館の魅力向上
- ▼ 太陽光パネルの設置条例化



自民党 武田 正光 議員 (流山市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策 (仮称)三郷流山橋を含む県道越谷流山線バイパス
- ▼ 防災対策(水害避難)
- ▼ 東葛飾地域の農業振興



自民党 小野崎 正喜 議員 (山武市・山武郡)

- ▼ 漁港の防災・減災対策
- ▼ 圏央道
- ▼ 企業誘致
- ▼ 成田空港

12月8日(火)



自民党 木名瀬 訓光 議員 (野田市)

- ▼ 大規模災害に備えた訓練
- ▼ 千葉県子どもを虐待から守る基本計画
- ▼ 青少年の健全育成
- ▼ 東葛北部地区の土地改良事業



千翔会 水野 友貴 議員 (我孫子市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策
- ▼ 情報発信のあり方
- ▼ 自殺対策
- ▼ 薬物乱用防止



自民党 安倉 登 議員 (千葉市花見川区)

- ▼ 消費者安全の推進
- ▼ 自転車活用の推進
- ▼ 犯罪被害者支援
- ▼ 特別支援学校



県民声 長嶋 義一 議員 (市川市)

- ▼ 千葉県をPRするテレビ・ラジオ番組
- ▼ 映画・テレビ等の撮影誘致
- ▼ 新型コロナウイルス感染症下における心肺蘇生
- ▼ 市川広小路交差点付近の整備



自民党 山本 義一 議員 (八街市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策
- ▼ 成田国際空港の機能強化の取り組み
- ▼ 移住の促進
- ▼ 農林業問題

12月9日(水)



自民党 伊藤 寛 議員 (習志野市)

- ▼ 災害対策本部のあり方
- ▼ 河川の災害対策
- ▼ 県営水道の災害対策



無所属 松崎 太洋 議員 (柏市)

- ▼ 医療的ケア児の支援
- ▼ 6次産業化の推進
- ▼ 特定外来生物
- ▼ 交通安全対策



自民党 石橋 清孝 議員 (東金市)

- ▼ 東千葉メディアカルセンター
- ▼ 成田空港
- ▼ 土地改良事業
- ▼ 税金



立千民 高橋 浩 議員 (木更津市)

- ▼ アクアステーション構想
- ▼ 給食費無償化
- ▼ ちばアクアラインマラソン
- ▼ 東京湾アクアライン通行料金 800円の恒久化



リベ民 秋葉 就一 議員 (八千代市)

- ▼ 新型コロナウイルス感染症対策
- ▼ 防災の強化
- ▼ 東葉高速鉄道
- ▼ 犯罪被害者支援

12月10日(木)



立千民 天野 行雄 議員 (千葉市稲毛区)

- ▼ SDGsへの取り組み
- ▼ 成田空港周辺の地域づくりに関する「実施プラン」
- ▼ 利根川の治水問題
- ▼ 自転車道(太平洋沿岸自転車道)



無所属 坂下 しげき 議員 (市川市)

- ▼ 緊急事態に対応できる財政政策
- ▼ 医療体制、災害・事故対策及び農業問題
- ▼ 待機児童対策、県と市町村との役割
- ▼ 安心安全な道路・交通対策



自民党 宮川 太 議員 (銚子市・香取郡東庄町)

- ▼ 銚子電鉄
- ▼ 保育人材の資質の向上
- ▼ イノシシの捕獲強化の取り組み
- ▼ 県立高校のあり方



自民党 阿井 伸也 議員 (大網白里市)

- ▼ 行財政改革/指定管理者制度 収入未済
- ▼ 金市町村への「ふるさと納税」の支援
- ▼ 県内水道の統合・広域連携
- ▼ 漁港施設の多角的利用

## 12月定例県議会 知事あいさつ

このたび提案致しました案件は、令和2年度の補正予算案、各種条例案およびその他附帯議案の31議案の他、諮問1件、報告1件です。

### ◎新型コロナウイルス感染症

まず、9月定例県議会において、今後整備するとお答えしていた季節性インフルエンザとの同時流行に備えた医療提供体制については、かかりつけ医や診療所など、多くの地域の医療機関で、速やかに発熱等に係る相談・診療・検査を受けられる体制の運用を11月16日から開始致しました。

一方で、インフルエンザがまだ流行していない中、県内の新型コロナウイルスの感染状況については、店舗や事務所、社会福祉施設などでクラスターの発生が相次いでおり、新規感染者数は11月に入ってから大幅に増加しております。

11月21日には、1日の感染者数が過去最多となる109人となり、直近7日間平均でも80人前後となるなど、非常に強い警戒が必要になっているものと認識しています。

こうした状況を踏まえ、病床確保のフェーズを一部地域で本日から引き上げ、全県で756床を確保するなど、感染の拡大に対応しているところです。

今後、さらなる感染拡大を防ぐためには、県民の皆さまお一人お一人が「新しい生活様式」を実践し、適切な感染防止対策を徹底する必要があります。

こまめな手洗い、「うつらない、うつさないためのマスク」の着用、換気などの基本的な対策の実践をお願い致します。

また、国が示す感染リスクが高まる「5つの場面」の中には、「飲酒を伴う懇親会等」や「大人数や長時間に及ぶ飲食」が示されているところです。

県内の感染者数の大幅な増加を踏まえ、危機意識を共有していただくため、国が実施している「Go To イート」の食事券の新規発行について、一時中断させていただくこととしました。

大人数での長時間に及ぶ飲食や飲酒は、大声になり飛沫が飛びやすくなるなど、感染リスクが高まります。会食の人数については、グループでテーブルを分けるな



どにより、原則として「4人以下」の単位としていただくようお願い致します。

県民の皆さまのご理解・ご協力を何とぞよろしくお願い致します。

### ◎令和2年度一般会計の補正予算案

新型コロナウイルス感染症の再拡大を踏まえ、今回の12月補正予算では、「感染者患者を受け入れる医療機関への更なる支援」、「発熱患者の急増に備えた検査体制の確保」、「所得が減少した世帯への生活福祉資金の積み増し」、「厳しい経済状況にある中小企業への支援」に係る経費を計上致しました。

この結果、補正額は1,417億3,000万円、現計予算と合わせた補正後の規模は2兆2,427億151万余円となります。

その他、令和元年度の災害により甚大な被害が発生した一宮川流域における浸水対策特別緊急事業等について、対策工事を早期に進めるため、債務負担行為を設定する他、適正な工期を確保するための繰越明許費を設定します。

続いて、補正予算案の主な事業の他、条例の一部改正などの提案した議案の概要説明がありました。

知事あいさつの全文は、県ホームページでご覧いただけます。

千葉県議会 知事あいさつ 検索

## 令和3年2月定例県議会 会期および議事・委員会予定

月 日	議事・委員会予定	開議時間
1月29日(金)	開会 TV	午前10時
2月 4日(木)	質疑並びに一般質問 TV	//
5日(金)	// TV	//
8日(月)	//	//
9日(火)	//	//
10日(水)	//	//
12日(金)	//	//
16日(火)	予算委員会 TV	午前10時30分
17日(水)	//	//
18日(木)	//	//
19日(金)	常任委員会(総務防災・総合企画企業)	午前10時
22日(月)	// (健康福祉・環境生活警察)	//
24日(水)	// (商工労働・農林水産)	//
25日(木)	// (県土整備・文教)	//
3月 2日(火)	閉会	午後1時

※傍聴される場合は、議会ホームページで最新の情報をご確認ください。

TV …チバテレで生放送されます。

パソコン、スマートフォンなどでインターネット中継をご覧いただけます。